

新婦人が提出した「核禁条約へ参加・批准するよう国に意見書をあげてください」の陳情書について8日（月）市議会の総務常任委員会

委員長：中島克訓 副委員長：大浦兼政 他、青木一男 入野登志子 関口孫一郎
梅澤 満 福田裕司 天谷浩明

委員長が司会で他7名の方が各自の意見を述べました。結果は残念ながら不採択。

・賛成の方2名：福田裕司 天谷浩明

・採択反対の方5名：大浦兼政、青木一男 入野登志子 関口孫一郎 梅澤 満

・賛成意見（とてもいい意見でした・・・）

天谷議員「市の平和都市宣言にも記されている、国へ何らかの行動を促す必要がある」・・・

「いつ日本は変わるのか・・・国民が変わっていかうとしている・・・日本国民の73%が核兵器はいらないといっている」「多少表現を変えても今、国への意見書をあげるべきではないか」・・・

福田裕司議員

「陳情書の趣旨はもっともである・・・市の予算で300万の非核平和事業費をつけている・・・その市が地方から声を上げない理由はない核保有国の手をしばることになる」

「採択反対の理由」は

・「中国、北朝鮮の核がすぐ近いので脅威」・・・「アメリカの核の傘に依存しているのでやむを得ない」・・・「核保有国と非保有国との橋渡しをするしかない」などなど、

3/26（金）;;;本会議

意見書賛成討論

白石・浅野・針谷（正）議員の3人はそれぞれそれぞれ・・・

「市の非核平和都市宣言-格調高い！-を読み上げ」賛成を訴えたり、

「中学生220人-この8年間-が広島に派遣され学んできた

11.011人に伝えた・・・中学生の思いに大人は答えるべきだ」など。

反対討論；小平議員

「北朝鮮のミサイル発射があったばかり・・・「核抑止力」が必要だ・・・」云々・・・

「核抑止力論」について考える

*「核抑止力論」は「いざとなれば、核兵器を使うぞと言って『脅して止めさせる』こと・・・「アメリカにいざという時には核兵器を使って下さいと言っていること」。

それでは『お互いっこ』でいつまでたっても核はなくせません。

*「あなたは数百万人の頭上に核兵器を落とせますか？」と問うこと、それはできない！

*世界で唯一の被爆国；ヒロシマ・ナガサキの悲劇を体現してしまった日本の原水爆禁止運動の原点は「どんなことがあっても、誰に対しても、再び核兵器を使ってはならない」 その日本が世界に訴えなくてどうする！！ すでに50か国以上が賛成批准し

ているのに！！

*毒ガス兵器・地雷兵器などが、非人道的として禁止条約が発効してから激減している。
最悪の非人道的兵器が核兵器、「橋渡し役」などと言ってる場合ではない。